

プラント状況確認結果(平成25年10月15日～10月22日)

平成25年 10月 22日

福島県原子力安全対策課

○ 平成25年10月15日～10月22日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

8月19日に発生した発電所敷地内H4エリアタンクからの汚染水漏えい事象の経過の詳細と現況については、[こちら](#)をご参照ください。

また、7月22日に東京電力から福島第一原子力発電所タービン建屋東側における放射性物質に汚染された地下水が海(発電所港湾内)に拡散(漏えい)していると考えられるとの報告を受けた事象について、県の対応は[こちら](#)をご参照ください。

(1) プラント状況 (10月22日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.4	5.3	5.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	29.4	39.1	38.6	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	1.65 × 10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.05	0.05	0.11	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	22.0	22.9	20.4	27

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (10月22日午前10時)

最小 2.6 (MP-1, 6) ～ 最大 5.1 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月21日採取分)

最小 検出限界未満(6号機取水口前) ～ 最大 200(3号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/ℓ
※告示濃度限度90 Bq/ℓを超えるセシウム137が検出されたため監視を強化。

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月21日採取分)

5, 6号機放水口北側に30m : 検出限界未満
1～4号機放水口から南側に1.3 km : 検出限界未満 ※検出限界値は約1.3 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (10月21日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約2 × 10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果（10月21日採取分）

最小 検出限界未満(4号機) ～ 最大 0.24(1号機) Bq/cm³ ※検出限界値は約0.02 Bq/cm³

【参考事項】

- 10月16日 台風の影響により、タンク堰内に大量に溜まった排出基準未満の雨水を堰外へ排水等を行った。その後、県が海水を採取して行った緊急的なモニタリングにおいて有意な変動はなかった。また、10月20日から21日にかけての台風接近による荒天においても同様の措置を行った。その後、県が海水を採取して行った緊急的なモニタリングにおいて有意な変動はなかった。
- 10月16日 7時51分頃、3号機原子炉建屋5階中央部から湯気らしきものが漂っているのがカメラにて確認された。プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はなかった。その後、10月17日11時30分頃に湯気らしきものは確認されなかった。その後も、10月18日、19日、20日、21日、22日に再度湯気らしきものが確認されたが、プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はなかった。

(問い合わせ 024-521-1917)